

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内
TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒566-8585 大阪府摂津市西一津屋 1-1 ダイキン工業 (株) 淀川製作所
TEL. 06 (6349) 0241 FAX. 06 (6349) 9865 油機事業部内

第 8 回西日本支部総会開催

第 8 回西日本支部総会が、平成 27 年 11 月 5 日 (木) の 15:30~16:10 までの間、滋賀県大津市の「琵琶湖ホテル」3 階の「瑠璃の間」で開催されました。

当日は、下尾西日本支部長及び支部会員の皆様方や本部から梶本会長・十萬副会長・北畠副会長・澤田監事・古川監事のほか多数の理事の皆様方が出席されました。また、来賓として近畿経済産業局製造部次長の志賀英晃殿や (一社) 日本機械工業連合会大阪事務所所長の井岡秀自常務理事等の関係者の陪席を得て総勢 60 名余の皆様方が出席されました。総会では以下の議事次第により、議事が進行し 16:10 に無事終了しました。



挨拶する下尾西日本支部長

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第 8 回西日本支部総会開催・・・・・・・・・・	1	PL 対策事業・・・・・・・・・・	6
委員会開催・活動状況		会員ニュース・・・・・・・・・・	8
標準化事業/ISO 対策事業・・・・・・・・・・	5	工業会ニュース・・・・・・・・・・	8
標準化事業/規格事業・・・・・・・・・・	6	今後の主要行事予定・・・・・・・・・・	8
技術調査事業・・・・・・・・・・	6	統計資料・・・・・・・・・・	11

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL : <http://www.japan-fluid-power.or.jp/>

第8回西日本支部総会議事次第

1. 開 会
2. 支部長挨拶 下尾西日本支部長
3. 会長挨拶 梶本会長
4. 来賓挨拶 近畿経済産業局
志賀英晃製造産業部次長
5. 本部報告
6. 支部報告
7. 閉 会

定刻に支部事務局より支部総会の開催挨拶があり、下尾支部長より以下の挨拶がありました。「ご紹介いただきましたダイキンの下尾でございます。本日は大変お忙しいなか、近畿経済産業局、日本機械工業連合会をはじめ多数のご来賓の方々並びに本部役員や支部会員の皆様にご出席いただき、誠にありがとうございます。

さて直近のフルードパワー業界を取り巻く事業環境につきましては、空気圧機器は中国の人件費高騰による自動化の広がりや好調のようですが、油圧機器は、中国市場の回復遅れで落ち込みが続いています。また、国内も下期は設備投資が伸びないとの予測がでており、中国のバブル崩壊やアメリカの利上げ、国内の今後の消費増税等から不安要素は多数ございます。

さて、市場の詳しいお話は会長やご来賓の方々にお任せして、滋賀のお話をさせていただきます。

本日は、当社のルームエアコンを生産しております草津市の滋賀工場を見学いただきました。エアコンは春に新製品をだすため、毎年秋にライン変更とライン改良を行います。このため、柔軟性がある、手作りラインとなっておりますのをご覧いただけたかと思えます。

さて、草津名物は乳母が餅(あまりご存じないかも?)ともう一つがルームエアコン。パナソニックのエアコン工場も隣接しております。生産の国内回帰が進んでおりますので、2社合わせてざっと日本の4割程度のルームエアコンがここ草津で生産されていることとなります。滋賀製作所は、30年ほど前には閉鎖すべきとの話がございました。当時ダイキンのルームエアコンのシェアは5%程度、大手のパナソニック、東芝、日立等の各社に押され低迷しており、強い業務用エアコンに集中すべきとの意見がありました。

この時頑張ったのが滋賀製作所のメンバーです。当時、松下さんは、生産の平準化や中国での海外集中生産を行っており、猛暑では品切れがおこり、冷夏では在庫が増えて翌年にたたき売りという状況でした。そこで冷夏では生産をやめ、猛暑では作り

続ける体制を整えました。生産のハイサイクル化、人の確保、部品のタイムリーな調達等、販売を裏で支える体制を構築しました。幸いなことに猛暑が続き、毎年1%ずつシェアを伸ばし、パナソニックを抜きトップシェアを得ることができました。その後、パナソニックも頑張っており現在は2位のシェアとなっています。

ところで草津は草津追分と呼ばれ東海道と中山道の分かれ道です。京都からは大津の次ですが、江戸から数えると東海道53次の52番目、中山道69次の68番目に当たります。中山道は天井川の草津川の下を抜けて、JR東海道線に沿って北東に伸び、東海道は草津川に沿って東へ進み、山に分け入り鈴鹿峠を越えます。歌川広重の浮世絵草津には、中山道は細い流れの草津川を、裾を持ち上げて歩くご婦人、東海道は街道通る早籠が描かれています。

目の前の琵琶湖は関西の水がめと言われ、観光船が行き交っておりますが、鉄道網が発達するまでは、近畿から日本海、東国への海上輸送ルートとして重要な位置を占めておりました。東海道線は明治5年に新橋から横浜間が初めて開業したことはご存じのとおりですが、関西でもその2年後の明治7年に神戸大阪間が開通し、13年には大津まで開通しました。これに引き続き開業したのは大津からの伸延ではなく、東の対岸長浜から敦賀港間で、明治22年に東海道が全通するまでは大津から長浜へは鉄道連絡船が就航し、水上の幹線で行きました。

このような人と物の流れは昔からございました。

信長は比叡山を焼き討ちした後、抑えとして明智光秀に大津の北、坂本に城を築かせ、越前朝倉氏、小谷城の浅井氏を滅ぼした後、その押さえとして秀吉に長浜城を築かせます。両方とも本丸が琵琶湖に突き出した水城で、物流の拠点として繁栄します。坂本城は秀吉によってさらに交通の便の良いここ大津に移されます。大津城本丸はこの会場の西の広場です。我々はちょうど本丸の東側城壁のすぐ外の湖の中にいることとなります。

信長自身の城として築いた安土城は坂本と長浜のちょうど中間に位置します。新幹線で琵琶湖側に座りますと、大阪から京都を過ぎ、瀬田川を渡りますと、対岸に比叡比良の山々が見えますが、東側はしばらく平野が続きます。10分くらいしますと、遠くに国境の岡山が見え、近江八幡の市街と西国31番札所のある長命寺山が見えてきます。しばらくしますと、手前の丘に安土城跡の看板が見えます。安土城は看板のある丘ではなく横の切通しを通してずっと奥に見える小山で注意しないとすぐに見えなくなります。続いて目の前に迫ってくる大きな山が叡(きぬがさ)

山、南近江の守護で近江源氏佐々木氏の本流、六角佐々木氏の拠点、観音寺山城で、山頂には西国32番観音正寺が見えます。頑丈な城構えですが、城主の六角承偵は、信長の事前通告にも戦準備をせず、6万の信長軍に周囲の山城を落とされると、戦わずに早々と城を逃げ出したと記録にあります。

安土城は当時湖に面し、手前に湿地が巡ってありました。信長が高さ300mの六角佐々木観音寺山城ではなく、峰続きの100m足らずの安土山に城を築いたのは坂本と長浜を行き来する船を監視でき、琵琶湖に直接船を出せる地の利だったといわれています。当時は堅田と菅浦の2大勢力に支配された丸子船と呼ばれる琵琶湖特有のそこが平らな帆船が1000隻も走っていたそうです。軍事優先の築城から経済優先の築城への転換で、天下布武をめざした布石でした。

さて、昨今のフルードパワー業界を考えますと、中国の低成長のなか、市場が思ったほど伸びず、途上国の追い上げは必至で改めて日本が何をすべきか今後の企業戦略の難しさを実感します。答えは簡単には見つからないと思いますが、次の一手を考えながら新幹線の中からこれらの歴史の教訓に思いをはせてみるのも一興かと思えます。

本日予定されております懇親会には、フルードパワーシステム学会の先生も参加されます。この場が、産学連携による我が国フルードパワー技術の一段のレベルアップとさらなる発展に役に立てれば何よりでございます。

最後になりましたが、今後の西日本支部会員各社の皆様のご健闘と更なるご発展をお祈り申し上げて、私の挨拶とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。」

次に事務局よりご来賓の紹介があり、その後、梶本会長から以下の挨拶がありました。

「ご紹介いただきました会長の梶本でございます。支部会員の皆様方には、常日頃から当会の運営に格別のご支援をいただき、また、本日はご多用の中、本支部総会にご参集いただき誠に有難うございます。

本日の西日本支部総会には、公務ご多忙の中にも拘りませず、近畿経済産業局産業部の志賀英見次長及び関係機関の皆様方にもご臨席賜り厚く御礼申し上げます。また、今回は支部長会社のダイキン工業(株)のご厚意により同社の志賀製作所を見学させていただきました。大変すばらしい工場で見学の方はぜひ一度見学されることをお勧めします。

さて、第4次安倍内閣が先月からスタートいたしました。平成24年12月の年末総選挙に勝利し第二

次安倍内閣が発足してから、約3年弱となるわけですが、デフレからの脱却を目指すアベノミクス政策の導入により、異次元の金融緩和と機動的な財政政策は円安や株高をもたらし、国内景気は緩やかに回復してきたといえます。さらにアベノミクス政策の成長戦略として、数多くの施策が打たれるとともに、この10月5日にはTPP協定交渉(環太平洋パートナーシップ協定)が、わが国を含め関係12か国で大筋合意され、世界の40%の市場で、関税の撤廃から知財、医療分野まで幅広い統一ルールができることになりました。

一方、世界経済を見ますと、米国は、個人消費、住宅部門を中心に、引き続き堅調な景気動向を継続しており、また、欧州も、総じて景気の動向は堅調に推移しているといえます。しかし、大きなリスク要因も顕在化し始めました。例えば、欧州では、大きな課題であったギリシア等の債務危機問題が未だ不安定のうえ、ドイツVWによるディーゼルエンジン排ガス不正測定問題の発生や中東、アフリカ地域からの難民問題等不安定要素が高まってきております。



挨拶する梶本会長

また、GDP世界第二位の中国は、リーマンショック後の景気対策として行った4兆元の投資は、世界経済の安定に大きく貢献したものの、反面、大手国有企業を中心に過剰設備を抱えるところとなり、さらには住宅バブル崩壊、上海株式市場の暴落など様々な経済問題が表面化してしまいましや。その結果、最近発表された、本年7～9月期(第3四半期)のGDPは6.9%の成長に留まるなど中国経済の先行きには不透明感が漂っております。これらの影響を受けて、アメリカ連邦準備理事会(FRB)は、「ゼロ金利政策」変更に伴う利上げは見送り、今後の対応も慎重に時期を見守っていくようです。

このような世界の経済環境のなかで、「工業会」

としても、会員各社の皆様方に必要な情報をタイムリーに提供できるように努力してゆく所存です。

また、我々の産業、ひいては日本の製造業の発展に大きく寄与できるよう、積極的に働きかけてまいりたいと考えております。各会員企業の皆様方におかれても、厳しい現実にはしっかりと向き合い、危機感を共有し、競争と協調のもと、相互に発展してゆくことが望まれると考えております。

最後になりましたが、本日、此処にご参集・ご臨席の皆様方の益々ご健勝とご活躍、そして会員各社のご発展をお祈りし簡単ではありますが、私の挨拶とさせていただきます。」

次に来賓を代表して近畿経済産業局志賀英晃製造部次長よりご挨拶をいただきました。

その後、本部報告・支部報告を行った後に支部会計報告及び決算報告について審議を求め承され後支部総会は無事終了しました。

第75回理事会

支部総会終了後16:20から同じ会場で第75回理事会を開催しました。理事会には、西日本支部総会に出席された支部会員の皆様もオブザーバーとして参加されました。初めに事務局から本理事会への理事の出席状況について報告が行われ本理事会が有効に成立している旨説明しました。梶本会長の議事進行により審議に入りました。議長は来賓として出席していた経済産業省製造産業局産業機械課の中嶋 匡係長に挨拶を要請し、同氏から挨拶を兼ねて「平成28年度の経済産業関係税制・予算要求の概要」及び「法人実効税率の引き下げ」等について詳細な説明がありました。次に議長は、議事録署名人として代表理事及び監事2名を指名し、議事次第に基づき議事の審議に入り、提案議案は全て承認されました。

第1号議案

平成27年度の受託事業費の確定の件

本年度の受託事業として、「平成27年度エネルギー使用合理化国際標準推進事業」のうち、「省エネ型水圧システムに関する標準化・(通称:ADS国際標準化推進事業)」を推進することにしておりましたが、本年5月25日付で(株)野村総合研究所と総額39百万円弱の委託契約を結びました。5月の総会時には、事業化が未確定であったため、金額未定の予算案で審議をお願いしました。前述したように5月25日付で正式な委託契約を結びましたので本理事会において承認を得るもので、審議の結果承認されました。

第2号議案

(一社)日本フルードパワー工業会規程の追加制

定について

平成28年1月より導入される通称:マイナンバー制度に対応するため、「マイナンバー取扱規程」を制定することが必要となりました。このため政策委員会で審議し承認された原案を提案し、審議の結果承認されました。

第3号議案

60周年記念事業の進捗状況等について一括報告をしました。

第4号議案

その他

次に事務局より、出荷動向・今後の主要日程の件について配布資料により説明しました。以上で審議を終え16:50に終了しました。

その後、17:00より別室の「瑠璃の間」に場所を移し、支部会員及び出席理事並びに来賓関係者に加え産学連携事業の一貫としてJFPS学会の築地会長(上智大学教授)、早川理事(奈良高専教授)等の先生方を交えた西日本支部との合同懇親会を開催し、和気あいあいのうちに散会しました。



合同懇親会会場

なお、恒例の西日本支部主催による工場見学は、支部長会社であるダイキン工業(株)滋賀製作所の工場を見学させていただきました。

総会翌日は、西日本支部長のダイキン工業(株)さんのご厚意により「ジャパンエースゴルフ倶楽部」で「第8回西日本支部懇親会」を開催しました。当日は、天候に恵まれ絶好のゴルフ日和となりました。参加者一同日頃の精進の成果を期待しプレーを行いましたが、不本意な結果の方もおられたようでした。なお、成績は以下の通りですが、優勝の竹崎さんは昨年につき2連覇でした。

- 優勝 竹崎 一生 (アクト電機工業 (株)
取締役社長)
- 2 位 梶本 一典 (CKD (株) 代表取締役社長)
- 3 位 西 啓三郎 (日本エンギス (株)
代表取締役社長)

委員会開催・活動状況報告
(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~  
標準化事業/ISO 対策事業  
~~~~~

空気圧バルブ分科会

日時 11月5日(木) 13:30 ~ 16:00
場所 機械振興会館 1-5 会議室
出席者 土澤主査以下 4名
事務局 千葉
議事

前回議事録確認後、JIS 見直し調査の結果 JIS B 8380 は確認とし、JIS B 8376 空気圧用速度制御弁については H28 年度区分 B で改正として JIS 応募することとした。

投票に掛かっている ISO 定期見直し 3 件について検討し、確認で投票することにした。

続いて、最低作動圧力の確認方法に関連して、フランクフルト国際会議において行われた米国の Mr. Phillips 及び Ms. Dyksterhouse のプレゼンテーション資料について検討し、今後の日本の対応について議論した。

次回開催: 12月17日(木) 機械振興会館 1-5 会議室

空気圧調質機器分科会

日時 11月6日(金) 13:30 ~ 16:00
場所 機械振興会館 1-5 会議室
出席者 小田主査以下 4名
事務局 千葉
議事

前回議事録確認後、ISO フランクフルト国際会議報告として、圧縮空気用フィルタの効率測定法に対する日本のコメントについての審議結果報告と対応を検討した。サイレンサの ISO 規格案に関しは、沖縄会議に続いてラウンドロビンテストの結果報告について米国、イタリア、ドイツの報告があり、検討及び対応について話し合った。投票に掛かっている ISO については次回までにコメントを提出することとした。

最後に、ISO10094-1 電空圧力制御弁の JIS 化審議を行った。

次回開催: 12月16日(水) 機械振興会館 1-5 会議室

騒音測定分科会

日時 11月17日(火) 13:30 ~ 16:00
場所 機械振興会館 6S-2 会議室
出席者 小嶋主査以下 8名
事務局 千葉
議事

ポンプ・モータ分科会との合同で開催した。

日本が提案した ISO 10767-1 Hydraulic fluid power—Determination of pressure ripple levels generated in systems and components — Part 1: Method for determining source flow ripple and source impedance of pumps (油圧システム及び機器から発生する圧力脈動レベルの測定方法—第 1 部: ポンプの吐出し流量脈動及び内部インピーダンスの測定方法) が 10 月に発行されたので、原案作成者の小嶋先生に発行に至るまでの経緯及びポイントとなる個所について解説をしていただいた。

JIS 原案作成は平成 28 年 4 月スタートとして応募することを確認した。

次回開催: H28-4 月 13 日(水) 機械振興会館 6-61 会議室

ISO/TC131/WG4 (空気圧信頼性試験) 分科会

日時 11月25日(水) 13:30 ~ 16:00
場所 機械振興会館 1-5 会議室
出席者 中曽根主査以下 4名
事務局 千葉
議事

前回議事録確認後、姉尾委員より 10 月に開催された ISO/TC131/WG4 フランクフルト会議の報告があった。会議において問題となった切換時間の故障を B_{10} に代わって B_{10d} で評価するために切換時間の測定方法を ISO19973-2 の Annex に記載するという米国の提案について問題点を検討した。

続いて、現在投票に掛かっている ISO/DTR 16194 について審議した。審議結果を基にコメントを作成し投票する。

次回開催: 未定

* ISO の動き

投票に付されている ISO 規格案
(TC131)

DIS 15552 Pneumatic fluid power — Cylinders with detachable mountings, 1 000 kPa (10 bar)

series, bores from 32 mm to 320 mm -- Basic, mounting and accessories dimensions

~~~~~  
標準化事業／規格事業  
~~~~~

油空圧シール分科会

日 時 11月13日(金) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 5S-4 会議室

出席者 川口主査以下 11名

事務局 千葉

議 事

川口主査の議事進行により前回議事録及び資料確認を行った。まず、JIS B 8395:2010 の見直し案について、前回の指摘によって変更した個所の説明及び解説について審議した。つづいて、工業会規格 JFPS 1017 「シールの用語」の見直し案について修正箇所及び新規発行の JIS B 0116 との違いを検討し、どちらを採用するか審議した。

次回開催：H28-1月29日(金)機振会館 5S-4 会議室

空気圧継手・チューブ分科会

日 時 11月19日(木) 13:30 ~ 15:30

場 所 機械振興会館 1-5 会議室

出席者 嵯峨主査以下 4名

事務局 千葉

議 事

ISO/CD 14743 の投票コメントを審議することになっていた ISO/TC131/SC4/WG9 フランクフルト会議が中止になったので、今後の動きが不透明という報告があった。次いで、空気圧用ポートねじの規格 ISO 16030 の JIS 原案について規格協会の中間チェックを受けたので、その指摘事項を検討し原案を修正した。

次回開催：H28-2月18日(木)機振会館 1-5 会議室

空気圧コンタミ分科会

日 時 11月20日(金) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 1-5 会議室

出席者 三浦主査以下 5名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、工業会規格 JPAS 006 の見直しについて継続審議を行い、本文は終了し、解説の検討に入った。

次回開催：H28-2月19日(金)機振会館 1-4 会議室

シリンダ分科会

日 時 11月27日(金) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 5S-4 会議室

出席者 榎本主査以下 5名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、ISO 関連として、ISO 6430 の廃止事案について報告があった。投票に掛かっている DIS/15552 について審議し、コメントなしで賛成投票することにした。

JIS 関連として、平成 26 年度 4 月に応募した JIS B 8366-5 に関連し、9 月 28 日に開催された経済産業省機械要素技術専門委員会の審議結果について、東川前主査より報告があった。

続いて、旧工業会規格の JFPS 1022 (旧 JOHS 110 製鉄機械用油圧シリンダ)の最終見直し案について、検討審議した、一部修正を加え発行する。油圧ジャッキに関する JFPS 1024 (旧 JOHS 124) 及び JFPS 1025 (旧 JOHS 125) の見直し修正案について検討審議を行った。解説の作成を担当委員に依頼する。

次回開催：H28-3月4日(金)機振会館 5S-4 会議室

~~~~~  
技術調査事業  
~~~~~

技術委員会空気圧部会若手技術者懇談会

日 時 11月10日(金) 13:00 ~ 15:00

場 所 日産自動車・追浜工場

出席者 土井高司部会長以下 13名

事務局 大橋

概 要

本年度第 1 回目の空気圧若手技術者懇談会は、13名の参加を得て、日産自動車・追浜工場の見学を行った。最初にショールームに集合し、会社及び工場概要のプレゼンを案内担当の女性から受けた後、小型バスにて見学ツアーに出かけた。

当工場の組み立てラインは、ガソリン車と電気自動車の混流生産を特徴とし、そのための工程上の工夫が随所にみられた。工場見学の経験の少ない若手は勿論のこと、部会長、事務局の年配の参加者ともども、以前の自動車組立ラインから大きく変遷し、改善されている現場の様子に強烈な印象を受けたようである。生産性向上、ポカミス発生防止と万が一のトラブル発生時の対応迅速化など、従業員の改善活動も高度なレベルで進んでいた。

参加者の見学報告は、2/23 開催予定の第 2 回懇談

会の作文発表にて聞くことができるはずであるし、本年発行の機関誌「フルードパワー」夏号に記事として掲載する予定である。



日産・追浜工場 ゲストホールにて

技術委員会空気圧部会第 517 回特許分科会

日 時 11月6日(金) 13:00 ~ 17:00

場 所 機械振興会館 6-62 会議室

出席者 出澤幹事以下 6名

事務局 吉田

議 事

はじめに前回議事録及び配付資料の確認を行った。公報の検討と無効理由調査について、継続審議案件 1 件については審査の経過を観察することとした。1 件については無効資料調査を行うこととした。1 件については引き続き調査を行うこととした。1 件については異議申立を行うことを前提に見解書の作成を依頼することとした。その他、特許異議申立の状況、手続きの留意点について情報を交換した。

次回開催:12月18日(金)特許庁見学・機振会館 6-61

「フルードパワーの世界」のデジタルブック作成委員会

日 時 11月11日(水) 13:30 ~ 16:00

場 所 機械振興会館 6-64 会議室

出席者 伊藤油圧部会長,
土井空気圧部会長 以下 10名

事務局 千葉, 大橋

議 事

はじめに事務局より JFPA 60 周年記念事業として「フルードパワーの世界」のデジタルブック制作が取り上げられた経緯及び日程の再確認を行った。

今回は各委員が自社の DVD 等動画データを持ち寄り利用できるかどうかの検討を行った。まず、以前に工業会が作成したビデオ「空気圧の標準システム回路」を見てから、KYB, 川崎重工, コガネイ, SMC 各社の動画及び水圧の応用事例の動画の確認を行っ

た。今後は、さらに動画収集に努め、油圧, 空気圧に分かれ具体的な作業に取り掛かることにした。

次回開催:油圧 1月20日(水)機振会館 B3-9 会議室

空気圧 1月21日(木)機振会館 B3-7 会議室

~~~~~

PL 対策事業

~~~~~

PL セミナー及び平成 28 年度 PL 保険制度の説明会の開催

日 時 11月11日(水) 14:00 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 6D-4 会議室

出席者 澤田委員長以下 28 名

事務局 藤原, 堀江

議 事

定刻に事務局から会議の開催を宣し、はじめに澤田 PL 対策委員長から開会の挨拶と本日の講師の(株)インターリスク総研マネジャー 川畑 孝一様、上席テクニカルアドバイザー 井上 泰 様の略歴の紹介がありました。当日は、第 1 部が 14:00 ~ 15:30 までの間「製品事故発生に備えて企業に求められる対応~緊急時対応と平常時管理態勢について~」についてのテーマで講演を受け、第 2 部が 15:40 ~ 16:30 までの間「平成 28 年度の PL 団体総合保険制度」についてワールドインシュアランスブローカーズ(株)営業部の金田弘基氏から説明及びその後の個別相談会の順に開催しました。



PL セミナー講演会

~~~~~

秋の叙勲

~~~~~

☆旭日小受章

(賛助会員)

株式会社 坂戸工作所

代表取締役社長 坂戸 誠一殿

去る11月3日(火)に平成27年秋の叙勲受章者が発表され、当会賛助会員で(株)坂戸工作所社長の坂戸誠一殿が旭日小受章をご受章されました。

今般のご受章につきまして、会員一同心からお祝いを申し上げます。

~~~~~  
会員ニュース  
~~~~~

☆新東工業(株) 本社の移転
(賛助会員)

同社から大名古屋ビルの完成に伴い本社を移転する旨の連絡がありましたのでお知らせします。

業務開始日:平成27年11月30日(月)

移 転 先:〒450-6424

愛知県名古屋市中村区名駅3-28-12

大名古屋ビル24階

TEL:052-582-9211(代表)

FAX:052-586-2279

電話 FAX とも従来と変更ありません。

~~~~~  
工業会ニュース  
~~~~~

☆平成27年11月より下記の会社が賛助会員として入会されました。よろしくお願いたします。

(賛助会員)

株式会社 三光製作所

代表取締役社長 建部 勘治郎 殿

本社

〒929-0214

石川県白山市長屋町口27-1

TEL:096-278-5666 FAX:076-278-6371

URL:<http://www.e-sankoh.jp/>

創 立 1938年7月

資本金 1,000万円

事業内容・特色

*母機の性能向上に拘った油圧バルブのオーダーメイド品、複合バルブの製造・販売

~~~~~  
今後の主要行事予定  
~~~~~

☆12月15日(火)第23回政策委員会
(場 所) 当会会議室

*平成28年

☆1月14日(木)年始会

(場 所) 東京プリンスホテル
「サンフラワーホール」
第76回理事会
同上ホテル11F「高砂」

☆3月30日(水)第24回政策委員会
(場 所) 当会会議室

☆4月15日(金)第77回理事会

(場 所) ザ・プリンスさくらタワー
(高輪)
2F「コンファレンスフロア」

☆5月19日(木)平成28年度(第17回)定時総会及び60周年記念式典

(場 所) 品川プリンスホテル
メインタワー

☆5月19日(木)総会後及び60周年記念懇親会

(場 所) 品川プリンスホテル
アネックスタワー5F
プリンスホール

☆5月20日(金)第55回JFPA懇親ゴルフ会

(場 所) 未定

~~~~~  
11月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)  
~~~~~

(標準化事業/ISO対策事業)

空気圧バルブ分科会

開催日 11月5日(木)

出席者

主 査 土澤聡明(コガネイ)

委 員 河野喜之(甲南電機)

〃 丸山哲郎(SMC)

〃 大島章義(アズビルTACO)

空気圧調質機器分科会

開催日 11月6日(金)

出席者

主 査 小田敏裕(甲南電機)

委 員 三村 岳(SMC)

- 〃 土岐真人 (コガネイ)
- 〃 高橋隆通 (甲南電機)

騒音測定分科会

- 開催日 11月17日 (火)
- 出席者
- 主査 小嶋英一 (神奈川大学)
- 委員 一柳隆義 (防衛大学校)
- 〃 安田義成 (油研工業)
 - 〃 矢加部新司 (KYB)
 - 〃 堺 隆二 (川崎重工業)
 - 〃 中辻 順 (ダイキン工業)
 - 〃 向井信雄 (島津製作所)
 - 〃 吉成孝正 (東京計器)

ISO/TC131/WG4 (空気圧信頼性試験) 分科会

- 開催日 11月25日 (水)
- 出席者
- 主査 中曽根祐司 (東京理科大学)
- 委員 高橋浩爾 (上智大学)
- 〃 妹尾 満 (SMC)
 - 〃 富田吉基 (CKD)

(標準化事業/規格事業)

油空圧シール分科会

- 開催日 11月13日 (金)
- 出席者
- 主査 川口 葵 (阪上製作所)
- 委員 小畑博美 (JFPA)
- 〃 南 暢 (日本バルカー工業)
 - 〃 國廣洋一 (NOK)
 - 〃 方波見栄次 (荒井製作所)
 - 〃 保科俊明 (SMC)
 - 〃 太田正貴 (阪上製作所)
 - 〃 木挽一彦 (三菱電線工業)
 - 〃 斎藤俊一 (日東工器)
 - 〃 相場宣慶 (東京計器)
 - 〃 北村 剛 (油研工業)

空気圧継手・チューブ分科会

- 開催日 11月19日 (木)
- 出席者
- 主査 嵯峨秀一 (ニッタ)
- 委員 細谷映之 (アオイ)
- 〃 大場良太郎 (コガネイ)
 - 〃 川口雅之 (CKD)

空気圧コンタミ分科会

- 開催日 11月20日 (金)
- 出席者
- 主査 三浦孝夫 (アトラスコプコ)
- 委員 大嶽康行 (CKD)
- 〃 永井祐文 (オリオン機械)
 - 〃 高橋隆道 (甲南電機)
 - 〃 中塚博士 (SMC)
- シリンダ分科会
- 開催日 11月27日 (金)
- 出席者
- 主査 樫本晴夫 (甲南電機)
- 委員 東川智信 (TAIYO)
- 〃 吉田泰裕 (CKD)
 - 〃 渡部文雄 (日本シリンダ共同事業)
 - 〃 須田浩之 (コガネイ)

(技術調査事業)

技術委員会空気圧部会若手技術者懇談会

- 開催日 11月10日 (火)
- 出席者
- 部会長 土井高司 (コガネイ)
- 参加者 片山 真一 (SMC)
- 〃 坂上 堅太郎 (SMC)
 - 〃 増井 喬 (SMC)
 - 〃 榎本 真之 (SMC)
 - 〃 宮崎 光照 (クロダニューマティクス)
 - 〃 藤原 孝俊 (甲南電機)
 - 〃 藤原 俊介 (コガネイ)
 - 〃 三村 真毅 (コガネイ)
 - 〃 蔦木 貴哉 (コガネイ)
 - 〃 須山 裕次 (CKD)
 - 〃 薛 成華 (CKD)
 - 〃 伊藤 恵史 (CKD)

技術委員会空気圧部会

第517回特許分科会

- 開催日 11月6日 (金)
- 幹事 出澤 大 (クロダニューマティクス)
- 委員 伊東淳一 (アズビル TACO)
- 〃 井野雅康 (SMC)
 - 〃 赤松直人 (甲南電機)
 - 〃 佐藤 浩 (コガネイ)
 - 〃 甲山登紀夫 (CKD)

「フルードパワーの世界」のデジタルブック作成

委員会

開催日 11月11日(水)

出席者

- 委員 伊藤和巳 (KYB)
- 〃 土井高司 (コガネイ)
- 〃 垣本幸伸 (コガネイ)
- 〃 張 護平 (SMC)
- 〃 小田敏裕 (甲南電機)
- 〃 古和武典 (川崎重工業)
- 〃 宮 能治 (KYB)
- 〃 安木秀己 (油研工業)
- 〃 渋谷文昭 (東京計器)
- 〃 鳥居良介 (阪上製作所)

(振興対策事業)

産機・建機合同部会

日時 11月18日(水)

場所 機振会館

出席者

部会長 石井 剛 (KYB)

委員

- 〃 岡根謙一 (油研工業)
- 〃 田中 稔 (ボッシュ・レックスロス)
- 〃 寺田 稔 (ダイキン工業)

空気圧本部会

日時 11月19日(木)～20日(金)

場所 伊豆

出席者

本部長 富田勝憲 (SMC)

副本部長 湯原真司 (CKD)

幹事長 中村賢次 (ニューエラー)

委員

- 〃 安藤一義 (クロダニューマテック)
- 〃
- 〃
- 〃

(PL対策事業)

PL委員会

平成27年度PLセミナー／

平成28年度団体総合保険説明・相談会

開催日 11月11日(水)

出席者

委員長 澤田敬之 (タイヨーインタナショナル)

参加者 佐々木 毅 (イトン)

- 〃 井出雄三 (三輪精機)
- 〃 高橋重之 (三輪精機)
- 〃 井上康司 (三輪精機)
- 〃 山脇 研郎 (住友精密工業)
- 〃 池田 成実 (住友精密工業)
- 〃 江口 茜 (住友精密工業)
- 〃 豊嶋 穰 (横浜ゴム)
- 〃 鳥居 尚人 (横浜ゴム)
- 〃 高橋 聖 (国際興業)
- 〃 出村淳二 (国際興業)
- 〃 坂部 純平 (オックスジャッキ)
- 〃 府川 周平 (廣瀬バルブ工業)
- 〃 上野 大輔 (理研機器)
- 〃 乾 純 (ヤマシンフィルタ)
- 〃 木村 諒 (大生工業)
- 〃 清水 隆 (東京海上日動火災)
- 〃 山中 尚志 (三井住友海上火災)
- 〃 八木 英一 (損保ジャパン)
- 〃 田島 祐一 (ワールドブローカーズ)
- 〃 軽部政彦 (ワールドブローカーズ)
- 〃 檜山 辰也 (ワールドブローカーズ)
- 〃 金田弘基 (ワールドブローカーズ)
- 〃 江村 幸哉 (ワールドブローカーズ)

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

<11月>

5日(木)

- ・第8回西日本支部総会
- ・第75回理事会
- ・ISO(委)空気圧バルブ分科会

6日(金)

- ・西日本支部及び理事会合同懇親会
- ・技術(委)空気圧部会第517回特許分科会
- ・ISO(委)空気圧調質機器分科会

10日(火)

・技術(委)若手技術者懇談会 日産追浜工場

11日(水)

- ・PL対策(委)PLセミナー及び

平成28年度PL保険制度の説明会

- ・技術(委)デジタルブック作成委員会

13日(金)

- ・ISO(委)油空圧シール分科会

16日(月)～23日(火)

・技術（委）ADS 国際標準化推進委員会欧州調査
団派遣

17 日（火）

・標準化（委）騒音測定分科会

18 日（水）

・振興対策 産機・建機合同部会

19 日（木）

・ISO/TC131/SC4

継手・チューブ分科会

19 日（木）～20 日（金）

・振興対策 空気圧本部会

20 日（金）

・標準化（委）コンタミ分科会

25 日（水）

・ISO（委）信頼性分科会

27 日（金）

・ISO（委）シリンダ分科会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省の HP では①政策②申請・届出③統計④
政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得
られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多
くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>
